

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名

西院地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】

月～日 午前8時30分から午後5時30分

緊急時には担当者に連絡できる体制をとっています。

【事業実施地域】

右京区 安井、山ノ内、西院第一、西院第二学区

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ・委託機関として公正・中立性の高い事業運営を確保しています。
- ・介護サービス利用に際しては、利用者や家族が自己選択・自己決定できるように、情報提供を行い、サポートしています。
- ・学区の成り立ち、年齢別構成割合等、地域の特性を考慮しながら、地域の各種関係機関と協力・連携し地域の問題解決にあたっています。
- ・「認知症あんしんサポーター養成講座」は小学生を対象に開催しました。認知症当事者支援は認知症初期集中支援事業を活用したり、行方不明高齢者早期発見にかかる連携要領等の仕組みを活用し、家族支援も含め包括的支援を行っています。
- ・年3回程度機関紙を発行し地域への情報発信を行っています。
- ・虐待が疑われるようなケースが発生した場合、相談協力員を通して、もしくは近隣住民からセンターへ情報を伝えてもらえるように働きかけを行っています。虐待対象者本人の支援とともに虐待防止へ向けての家族への支援も重要であるとの認識から、早急に関係機関へのつなぎも行っています。
- ・介護支援専門員の後方支援の一環として、学習会・交流会・事例検討会を実施すると共に、個別ケースの相談を受け、スーパービジョンや後方支援を行っています。
- ・介護予防推進センターや、地域の民生委員・老人福祉員、学区社会福祉協議会や老人クラブと協力して介護予防についての普及・啓発を行っています。
- ・当施設が開催している「おいでやす食堂」は可能な限りテイクアウトで再開し、高齢者が子どもたちに交流できる場として活動を継続しています。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

主任介護支援専門員 2名 保健師等 2名 社会福祉士 2名 体制強化職員 1名
介護支援専門員 4名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業に事業を委託する場合や物品購入をする場合、以下の考え方に従って業者選定をしています。

- （1）業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。
- （2）法人が専門に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合。
- （3）業務内容は簡易であるが、行う人材を集めることが容易でない場合、その業務を行える人材を集めることに特化した業者がある場合。
- （4）備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用しています。また、地産地消の考え方から、より身近な地域の商店や企業からの購入をし、他の面でも日常的な連携が図れるようにしています。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 介護予防支援給付対象者数 (実績値)

6758 人

(2) 相談延べ件数 (実績値)

2327 件

(3) 収支実績

ア 令和6年度収入状況 (単位: 円)

委託料	36,873,300
介護保険収入	33,250,713
その他	259,835
収入計	70,383,848

イ 令和6年度支出状況 (単位: 円)

人件費	57,333,426
事業費	4,597,210
委託費	3,959,569
小額修繕費	21,900
その他	3,068,286
支出計	68,980,391

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

年一回、ご利用者向けのアンケートを実施しています。今年度はご利用者訪問モニタリング時にアンケートを持参して実施しました。また地域ケア会議や認知症あんしんサポーター講座、居場所カフェ開催後には必ずアンケートを実施し、地域住民やご利用者の希望を聴取するよう心掛けています。

(2) 利用者満足度把握の結果

ご利用者向けのアンケート実施総数は50件。回収率は68%となりました。アンケート内容については「担当者が相談しやすいかどうか」(相談しやすい27件)、介護サービス利用をして生活に変化があったかどうか(暮らしやすくなった25件)という結果でありました。自由記載欄を設けて回答ができるようにし、「サービスを利用することで楽しみができた」「大変よくしてくださいます。」などの感想を頂きました。

(3) 意見等への主な対応状況

今年度のアンケート結果では、「相談しづらい」「悪くなった」などの意見は0件でした。今後もご利用者が満足していただける対応を心掛け、継続していきたいと思っています。

7 評価(指定管理者自己評価)

- ・虐待ケースや地域の民生や老福から相談のあがるケースを、介護サービスに繋げることができました
- ・地域ケア会議は、日常生活圏域ケア会議(Ⅲ)を年度末の3月に開催することができました。学区別のケア会議は、名簿の突合せを含め、全学区の開催を行うことができました。
- ・今年度も給付管理数順調に伸びているため、体制や管理方法を見直しました。令和7年4月より12名体制になり、主任の配置を2名に増やしたことで、組織的に体制の整理できました。
- ・週1回、役職者3名でケース会議を実施し、課題の抽出や問題点のヒアリングを行っています。要支援者認定数は右京区内ではトップを維持しています。
- ・相談対応の方法や整理を継続して行い、職員の負担軽減も引き続き検討していくことが必要です。
- ・障害者差別解消法に基づく不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供については、施設内会議にて研修を実施し、精神疾患を抱えている職員に対する対応方法や配慮を共に検討しました。